# 第 73 回　富山県高等学校定時制通信制体育大会要項

1　主　催　　富山県高等学校体育連盟

2　共　催　　富山県教育委員会
富山県高等学校定時制通信制教育振興会
（公財）富山県スポーツ協会

3　主　管　　富山県高等学校体育連盟定通専門部

4　会　場

| | | |
|---|---|---|
| バスケットボール | （男・女） | 富山工業高等学校体育館 |
| 卓　　球 | （男・女） | 志貴野高等学校体育館 |
| バレーボール | （男・女） | 新川みどり野高等学校体育館 |
| ソフトテニス | （男・女） | となみ野高等学校テニスコート |
| バドミントン | （男・女） | 雄峰高等学校体育館 |
| 柔　　道 | （男・女） | 雄峰高等学校武道場 |
| 剣　　道 | （男・女） | 雄峰高等学校武道場 |
| 軟式野球 | （ 男女 ） | 新川みどり野高等学校グラウンド |
| サッカー | （ 男女 ） | 富山工業高等学校グラウンド |

※大会当日、大会本部を雄峰高校内におく。

5　期　日　　６月１４日（土）　　予備日：６月２１日（土）

6　日　程（種目により変更の場合あり）
９：００～　監督者会議（各会場）
９：１５～　開会式（雄峰高校体育館）開始式（各会場）
９：３０～　競技開始

※本大会は全国大会（７・８月）、北信越大会（１０月）の予選会とする。

| 全　国　大　会　（東京都等） | | 北 信 越 大 会　（福井県） | |
|---|---|---|---|
| １．軟式野球 | （ 男女 ） | １．軟式野球 | （ 男女 ） |
| ２．バスケットボール | （男・女） | ２．バスケットボール | （男・女） |
| ３．バレーボール | （男・女） | ３．バレーボール | （男・女） |
| ４．バドミントン | （男・女） | ４．バドミントン | （男・女） |
| ５．卓　　球 | （男・女） | ５．卓　　球 | （男・女） |
| ６．ソフトテニス | （男・女） | ６．ソフトテニス | （男・女） |
| ７．柔　　道 | （男・女） | ７．柔　　道 | （男・女） |
| ８．剣　　道 | （男・女） | ８．剣　　道 | （男・女） |
| ９．サッカー | （ 男女 ） | ９．サッカー | （ 男女 ） |

7　競技方法
各競技とも、試合方法はトーナメント戦とする。但し、団体戦、個人戦ともエントリーが３チーム（３人）の場合は、リーグ戦とする。

《軟式野球》
⑴　競技規則は当該年度公認野球規定による。大会特別規則は別に定める。
⑵　本大会は７回戦制及び時間制（試合開始後８０分を越えた時点で次の回を最終回）とし、同点の場合は無死１・２塁で継続打者（走者は前位者）によるタイブレーク制で勝敗を決定する。
⑶　５回終了以降で７点以上の差のあるときはコールドゲームとする。
⑷　使用球は公認球（ＴＯＰボールＭ号）とする。
⑸　１チームは、選手１５名以内とし、帽子も必ず着用すること。
⑹　雨天の場合は代表者、監督者会議において実施の可否を決定する。
⑺　雨天等で試合が実施できない場合は、抽選で上位大会出場校を決定する。
６月２１日（土）は予備日…参加校数によっては、大会開催日となる場合があります。

《バスケットボール》
⑴　本大会は日本バスケットボール協会競技規則により実施する。ただし、競技時間は８分クォーター制とし、延長戦は５分とする。
⑵　出場校は濃淡２色のユニホームを準備すること。
⑶　１チームは、選手１５名以内とする。

《バレーボール》
⑴　競技規則は当該年度日本バレーボール協会６人制競技規則による。但し、ネットの高さは男子２ｍ３５ｃｍ、女子２ｍ１５ｃｍとする。
⑵　ユニホーム、監督章、マネージャー章は競技規則のものを着用する。
⑶　試合が連続する場合には、１５分以上３０分以内の休息を与える。
その場合試合開始時間を審判が連絡する。
⑷　使用球は、日本バレーボール協会検定球とする。
⑸　１チームは、選手１４名以内とする。ただし１２名を超える場合は必ずリベロをおくこと。
⑹　ユニホームは統一し１～１４の一連番号とする。

《バドミントン》
⑴　競技規則は現行日本バドミントン協会競技規則による。
⑵　団体戦の順序は男女とも、複・単・単で２マッチ先取とする。単・複の重複は可とする。
各チーム初めての試合は、勝敗にかかわらず全試合を行う。
⑶　個人戦はシングルスのみ行う。男女とも１校６名以内のエントリーとする。団体戦と兼ねてよい。
⑷　団体戦・個人戦とも３セットマッチ。個人戦の準々決勝以上は１ゲーム２１点で行う。
ゲームは２０点。２点差がつくか、どちらかが３０点になった時点でそのゲームの勝敗を決する。
前述以外の個人戦および団体戦は１ゲーム１５点で行い、延長ゲームは１４点。２点差がつくか、どちらかが２０点になった時点でそのセットの勝敗を決する。
⑸　使用球は公認球（水鳥３番）とする。
⑹　ユニホームは白を基調としたもので背にゼッケン（Ｂ５版程度）をつけること。
（白布に黒で、選手名、学校名を記入）

《卓　　球》
⑴　競技規則は現行日本卓球協会競技規則による。
⑵　団体戦のエントリーは７名以内とし、競技は３～６名で行う。ダブルスを中央におく４シングルス、１ダブルス（単・単・複・単・単）の５試合とし、３点先取法で勝敗を決定する。
但し１・２回戦は勝敗にかかわらず全試合を行う。単・複は重複してよい。
オーダーの組み方はＡＢ、ＰＱ方式とする。この場合両チームは互いに違う方式をとる。
⑶　個人戦は男女とも１校３名以内のエントリーとし、シングルス１１点３セット先取法で行う。
団体戦と兼ねてもよい。
⑷　使用球はプラスチック製４０㎜球（Ｎittaku，ＴＳＰ，バタフライ）　とする。
⑸　選手は背にゼッケン（Ｂ５版程度）をつけること。（白布に黒字で、選手名、学校名を記入）
ユニホームの上衣は赤・緑・紺など協会細則による色調であること。（白は不可）
⑹　シングルスのアドバイザーは１名とする。

《ソフトテニス》
⑴　競技規則は現行の日本ソフトテニス連盟ハンドブックによる。
⑵　団体戦は男女とも３組対抗点取法とする。２組のみの出場も可能。
⑶　個人戦における各校のエントリー数は自由とする。
⑷　使用球は公認球（赤Ｍ）とする。
⑸　シューズはテニスシューズを使用すること。
⑹　選手は背中に校名入りのゼッケン（Ｂ５版程度）をつける。
⑺　天候等の関係により屋外テニスコートで試合が実施できない場合は、……　*未定*

《柔　　道》

⑴　競技規則は､国際柔道連盟試合審判規定による。

⑵　試合時間は団体・個人とも３分間とする。

⑶　団体戦はトーナメント戦を行い、勝率高点法で決する。

１チームは３名（２名のみのエントリーも可）＋補欠２名以内とする。

選手オーダーは申込書通りとし、試合終了後まで変更してはならない。但し、事故その他で補欠起用の時は補欠選手をそのオーダーにいれること。

⑷　団体戦に於ける勝敗の判定は「一本」「技あり」「僅差」とし、得点差が無く、かつ「指導」差が１以内の場合は「引き分け」とする。

※　「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（技あり）がない、又は同等の場合、「指導」差が２以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。

両チームの得点が同点の時は内容差（一本勝の数＞技あり勝の数）による。

内容も同等の場合は出場した中の任意選手による代表戦（勝敗は個人戦に準ずる）を行う。

⑸　個人戦は、男子は体重別４階級で行い、６５kg 級（65kg 以下）、７５kg 級（65kg 超 75kg 以下）、９０kg 級（75kg 超 90kg 以下）、９０kg 超級（90kg 超）とする。女子は体重無差別とする。

各校のエントリー人数は自由とする

⑹　個人戦に於ける勝敗の決定基準は「一本」「技あり」とし、双方の選手間に技による評価が無い、又は同等の場合は、時間無制限のゴールデンスコアーによって勝敗を決する。

⑺　計量は当日監督会議前に会場で行う。計量失格者は試合に出場できない。

《剣　　道》

⑴　全日本剣道連盟審判規定による。

⑵　試合時間は団体４分、個人４分とする。

⑶　選手オーダーは申込書通りとし、試合終了後まで変更してはいけない。但し、事故その他で補欠起用の時は補欠選手をそのオーダーにいれること。

⑷　団体戦は１校１チーム３名、補欠２名以内とする。ただし、やむを得ない場合は、１チーム２名以上での参加も認める。

３名チームが２名チームと対戦する場合は、事前に申し込んであるオーダーの中で、不戦勝ちの選手を試合前に１名決定できる。試合は２試合を行う。

⑸　個人戦はエントリー数を制限しない。

⑹　紅白のたすきを持参すること。

《サッカー》

⑴　競技規則は当該年度（財）日本サッカー協会制定の競技規則による。

試合時間は前後半合計６０分（３０－１０－３０）とする。

時間内で勝敗が決しない場合は、ＰＫ　方式（５人で決定しない場合はサドンデスとする）により次回戦に進出するチームを決定する。

但し、決勝戦において時間内に勝敗が決定しない場合は延長戦として２０分（１０－１０）延長し、なおも決定しない場合はＰＫ方式（５人で決定しない場合はサドンデスとする）により決定する。

⑵　登録人数は１チーム、監督１名、コーチ１名、マネージャー１名、選手１６名までとする。

⑶　試合開始前に最大限５人までの交代要員の氏名を主審に通告しておき、主審の許可を得て交代することができる。（５人までの交代可）

⑷　選手は全員統一されたユニホームを着用する。事前に登録されたものを原則とし、背番号の変更は監督会議以降は認めない。

正副２着、異なる色のユニホームを携行すること。但し、審判と類似色の上着を用いることはできない。

背番号は必ず登録された選手固有の番号をつけること。

背番号は１から通し番号とする。縦縞及び横縞の上着には白布地に背番号を付け、わかりやすくすること。

⑸　本大会において退場させられた者は次の試合に出場することはできない。それ以降の処置については、大会の競技委員会等で決定する。

本大会期間中、警告を２回受けた者は次の試合に出場できない。

ピッチの内外問わずフェアープレーで行動すること。

８　参加資格

⑴　富山県高等学校定時制・通信制課程の在学生で年齢・学年は問わない。

⑵　一人１競技、各１チームとし、チーム編成は学校単位・課程別とする。
　　同一生徒の出場は４回までとする。

⑶　独立行政法人日本スポーツ振興センターへ加入していること。

⑷　別途定める「富山県高等学校定時制通信制体育大会における個人情報及び肖像権に関す
　取り扱い」を了承していること。

９　表　　彰

⑴　団体戦は１・２位を表彰する。１位には優勝旗または優勝杯（持ちまわり）及び賞状を授与する。
　　個人戦は１・２・３位（決定戦）とし賞状を授与する。

⑵　表彰は競技毎、閉会式に行う。

10　申し込み

⑴　申込期限　　令和７年５月８日（木）　必着

⑵　申 込 先　　〒９３０－０００９　富山市神通町二丁目１２番２０号
　　雄峰高等学校内高体連定通部事務局

⑶　申込方法　　別紙の申込用紙に記入し各校ごとにまとめて申し込む。

⑷　参 加 料　　団体　４００円　×　エントリー人数
　　個人　４００円　×　エントリー人数
　　※　軟式野球に出場するチームは、定通体育大会参加料のほかに全国定時制
　　通信制軟式野球連盟の登録料　１チーム　９０００円＋（２２００円×人数）
　　を県高体連定通部事務局へ納める。

11　抽　選　会

令和７年５月１５日（木）　１４：３０　～　雄峰高校会議室

12　そ　の　他

⑴　前年度優勝校は開会式（開始式）に優勝旗、優勝杯を返納する。

⑵　試合球の持ちより等については、以下のとおりとする。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| バドミントン | → | 事務局で準備 | 卓　　球 | → | 事務局で準備 |
| バスケットボール | → | 事務局で準備 | バレーボール | → | 事務局で準備 |
| ソフトテニス | → | 事務局で準備 | 野　　球 | → | 事務局で準備 |
| サ　ッ　カ　ー | → | 事務局で準備 | | | |

⑶　エントリーの変更

ア　団体戦は原則として監督者会議以降は認めない。

イ　個人戦は原則として認めない。

⑷　抽　　選

ア　団体戦はノーシードとする。

イ　個人戦は前年大会で４位以内の選手をシードする。

ウ　個人戦は各学校のエントリー数に応じてブロック別に分け、できるだけ早い段階で対戦しないよう
　配慮する。ただし、エントリー数がブロック数（２・４・８）を越えた場合はこの限りではない。

⑸　リーグ戦の順位決定方法について

　順位決定は、ポイント方式による。勝ち＝２、引き分け＝１、負け＝０

＜順位の決定は次の順序で行う＞

ア　ポイント数の多いチームが上位。

イ　同点チームが２またはそれ以上の場合、

（ア）得失点差の多いチームが上位。

（イ）得点数の多いチームが上位。

（ウ）チーム間の対戦結果、勝ちチームが上位。

（エ）抽選

⑹　県選抜チームの編成について

　上位（全国・北信越）大会に於いて県選抜チームを編成する場合、大会終了後の選考会議等で共通
理解を図る。